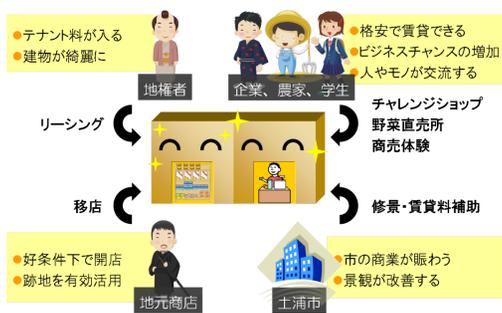


まちあるき商店街

ハード面の政策

滝の前広場から中城通りの間の道路を整備し、昼間の車の通行を規制する。更に、現在中城通りで取り組まれているのれんや行灯、うんちく板等の設置に加え、歴史を感じるファサードの修景を中城通りから125号にかけて行うことで、一体的な整備を進めていく。整備にあたっては行政が修景や賃料の補助等を行うことで、店舗利用の効率化が可能になり、商店街の賑わいが持続する仕組みが生まれる。



ソフト面の政策



これらの政策によって、市街地人口の増加、歩くインセンティブの創出を図り、日常の買い物客による賑わいを生み出す。

ボランティアスクール

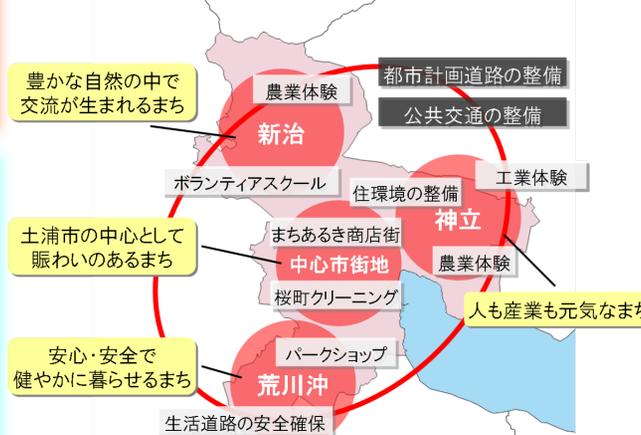
中高生と高齢者による合同のサークルを形成し、右図のような活動に取り組むことによって、まちへの貢献、地域産業への関心の高まり、交流機会の増加を目指す。



土浦市は現在、少子高齢化の進行、緑地の狭小化、農業・水産業の縮小、中心市街地の衰退、高い犯罪件数割合など、様々な問題を抱えている一方で、里山や霞ヶ浦などの豊かな自然資源や北関東最大の歓楽街である桜町、多くの学生を有する等の特長を持っている。私たちは、これらの特長を生かしながら問題を解決すべく、「元気」「健やか」「交流」をコンセプトとして人口の現状維持を目標とし、以下の4つの重点整備計画を提案する。



更に、各計画を市内全域に広げていくため、都市計画道路・公共交通の整備を施して、新治・神立・荒川沖・中心市街地エリア間のネットワークの強化を目指す。



以上の計画を進め、20年後に向けて「健交都市 土浦」の実現を目指す。

桜町クリーニング

防犯面の強化

桜町関係各者による地域組合「桜町s (チェリータウンズ)」を結成し、防犯パトロールなどの地域活動に協力して取り組む。



警察は効果的な取り締まりが、行政は地域の効率的な管理が、住民は安心な暮らしが、利用客は安心な利用が、商工会は一体的な施策展開が、それぞれできるようになる等、関係者全員に対して効果が期待される。

イメージの改善

- ① タクシー割引券の配布
- ② 居酒屋マップの作成
- ③ 風俗街ゲートの設置 (右図) の整備を進め、風俗店とそれ以外のイメージを区別することで、それぞれの利用促進を図る。



パークシヨップ

公園づくりのワークショップ = パークシヨップ (右図)

市民参加型による公園整備が実現することで左下図のような効果が期待され、持続可能な公園づくりが広がっていく。右図のように親水空間を拠点としながら、公園の少ない地域で重点的に整備を進める。

